

令和 6 年

壱岐市議会定例会 1 2 月会議

行 政 報 告

壱 岐 市

目 次

1. はじめに	1
(1) 長崎県への要望書の提出について	2
(2) 第4次壱岐市総合計画について	3
(3) 組織機構の見直しについて	4
2. 交流人口の拡大	
(1) 観光振興について	5
(2) 壱岐ウルトラマラソンについて	5
(3) スポーツ合宿誘致について	6
(4) イルカパーク管理・環境等検討委員会について	6
3. 産業の振興	
(1) 農業の振興について	7
(2) 水産業の振興について	8
(3) 企業誘致について	9
4. 市民生活の維持	
(1) 環境の保全について	10
(2) 野良猫の対策について	10
(3) 還暦式について	11
5. 教育の推進	
(1) 第40回国民文化祭、第25回全国障害者芸術・文化祭プレ大会に ついて	11
(2) 子どもたちの活躍について	12
6. 安心安全なまちづくり	
(1) 防災対策について	13
(2) 消防・救急について	14
7. 議案説明	
(1) 補正予算について	15
(2) その他の議案について	15
8. おわりに	16

行政報告

令和6年壱岐市議会定例会12月会議

1. はじめに

本日ここに、令和6年壱岐市議会定例会12月会議にあたり、9月会議以降、本日までの市政の重要事項及び今回補正予算に計上した主要内容等についてご報告申し上げ、議員皆様のご理解とご協力を賜りたいと存じます。

はじめに、令和6年秋の叙勲において、本市から元長崎県壱岐保健所診療放射線技師の ^{おさだ}長田 ^{ともたか}智貴 様が保健衛生功勞として瑞宝双光章を、元壱岐市消防団副団長の ^{えぐち}江口 ^{とよつぐ}豊次 様が消防功勞として瑞宝単光章を、第43回危険業務従事者叙勲において、元壱岐市消防司令長の ^{しもじょう}下條 ^{ゆうじ}優治 様が瑞宝双光章を、本市の壱岐ウルトラマラソンの開催に対し、多額の企業版ふるさと納税によるご寄附を賜りました株式会社ファウンテック様（代表取締役社長 ^{まんだに}万谷 ^{ただし}正 様）が、紺綬褒章を受章されました。

また、11月10日の「第43回全国豊かな海づくり大会おんせん県おおいた大会」において、壱岐市磯焼け対策協議会 様が、植食性動物駆除等に取り組んだ結果、約270haの藻場が回復したことを評価され、漁場・環境保全部門で水産庁長官賞を受賞されました。

11月16日の令和6年度「ながさき農林業大賞」におきましては、本市から農産部門で 農事組合法人 平人営農組合 様が長崎県知事賞を、しまの農林業経営部門で芦辺町の ^{くぼ}久保 ^{ひろたか}博敬 様が運営委員会会長賞を、同じく「ながさき水産業大賞」において、魅力ある漁村

づくり部門で 勝本町漁業協同組合 様が長崎県知事賞を受賞されました。

さらに、令和 6 年県民表彰において、本市から人命救助功勞として石田町の ^{ひらた} 平田 ^{せいいち} 清一 様及び平田 ^{ひらた} 一樹 ^{かずき} 様、地方自治功勞として前壱岐市長の ^{しらかわ} 白川 ^{ひろかず} 博一 様、社会福祉功勞として保護司の ^{やまかわ} 山川 ^{しずこ} 静子 様がそれぞれ受賞されました。

また、多年にわたり地域の環境美化に貢献されている ボランティア団体半城湾会 様が、令和 6 年度長崎県環境保全功勞者表彰を受賞されました。

この度、叙勲、褒章並びに表彰をお受けになった皆様に対し、今まで築かれたご功績に、深甚なる敬意を表しますとともに、心からお慶び申し上げます。

（１）長崎県への要望書の提出について

去る 11 月 22 日に、長崎県並びに長崎県議会へ、壱岐市の単独要望を行いました。大石知事をはじめ幹部職員、そして県議会では ^{とくなが} 徳永 ^{たつや} 達也 議長にご対応いただいたところであります。本市からは、鵜瀬 和博 県議会議員並びに壱岐市議会を代表して小金丸議長にもご同席いただき、12 項目の要望書を提出いたしました。

本年度は全ての項目において、一步でも前に進めるという方針のもとで見直しを行い、新規項目である「海業への支援について」、「インバウンド誘客支援について」と、喫緊の課題である「原子力災害時における広域避難について」の 3 項目について、ご説明申し上げます。

大石知事からは、海業への支援について、離島地域の振興を図る上で非常に重要なものだと感じており、地域の特徴を活かした海業を推進するため、県としても一緒になって取組を進めたい旨のご回答をいただきました。

また、インバウンド誘客支援についても、商談会への参加やSNSを活用した情報発信等、今後も連携してプロモーションを進めることで、さらなるインバウンドの誘客に繋げていきたいとのご回答をいただいたところであります。

この他の要望項目も、本市にとって極めて重要な事項であり、引き続き協議を重ね、県との連携をより密にして、本市の振興発展に全力で取り組んでまいります。

（２）第４次壱岐市総合計画について

第４次壱岐市総合計画については、昨年度から策定に取り組み、本年９月に素案がまとまったことから、１０月に市民皆様から広くご意見をお聞きするためのパブリックコメントを実施し、その後、壱岐市総合計画審議会で最終的なご審議をいただき、去る１１月１２日に答申をいただいたところであります。

これまで、審議会５回、審議会コアメンバーによる検討会を３回実施し、ご審議いただきましたことに、心からお礼申し上げます。

今回の第４次壱岐市総合計画は、「一緒に前へ、壱岐新時代へ」をスローガンに、市民皆様が幸せを実感できる壱岐を創っていくこと、その条件として２０５０年の本市の人口２万人を維持することを目指し、壱岐市の新たなステージに向かうためのまちづくりの羅

針盤として、策定したところであります。

今後、本計画の実施にあたっては、行政だけでなく、市民皆様をはじめ、島内外の企業、大学及び関係機関などの多様な方々が本市の担い手となり、それぞれの役割を果たし、連携しながら一緒に進めていく必要がありますので、議員皆様、市民皆様のご理解、ご協力を賜りますようお願いいたします。

（３）組織機構の見直しについて

９月会議において行政組織条例の一部改正を議決いただき、令和７年１月１日から組織機構の見直しを行うこととしております。

見直し内容の主な点は２点でございます。

１点目は、市民福祉課が所管している高齢者福祉に関する業務と、保険課が所管している介護予防や地域支援事業に関する業務を総合的かつ効率的に推進するため、芦辺庁舎の保健環境部内に「長寿支援課」を新設します。これに伴い、高齢者福祉に関する業務の本庁機能が、郷ノ浦庁舎から芦辺庁舎へ移管しますが、各種高齢者福祉サービスに関する申請手続は、これまでどおり各支所で行うことができるよう準備を進めております。

次に２点目ですが、総務部「ＳＤＧｓ未来課」の名称を「一緒に推進課」へ変更します。一緒に推進課では、総合計画に関する業務、広報に関する業務及び東京事務所に関する業務などを新たに所管することとしておりますが、一方で、まちづくり協議会に関する業務や再生エネルギーに関する業務を政策企画課へ移管するなど、所管する業務内容の見直しを行います。また、現在、ＳＤＧｓ未来課が

所管する業務の内、SDGs 未来都市の推進、自治体モデル事業、テレワークに関する事などは、一緒に推進課へ引き継ぐこととしております。

組織機構については、今後も行政ニーズや時代の流れの把握に努め、市民皆様の利便性向上と効率的な行政運営を図るため、適宜見直しを行ってまいります。

２．交流人口の拡大

（１）観光振興について

本市における観光客数を推計する上で参考となる九州郵船とオリエンタルエアブリッジの本年４月から１０月までの乗降客数は、３７９，８０３人、対前年比９８．４パーセントでありました。

８月下旬から９月上旬にかけて非常に強い台風１０号が九州に上陸したことによる天候不良や交通機関の乱れ、秋の観光シーズン中に天候が不安定であったことなどが影響したものと考えられ、前年をやや下回る乗降客数となっております。

このような中、１０月末までに島外スポーツ団体等誘致支援事業により１４７の団体、スポーツ大会等開催助成事業により１２大会、計４，０７６名の申請があり、大きな経済効果を生み出しております。引き続き、島内スポーツ団体等との連携した大会開催及び誘客促進に、積極的に取り組んでまいります。

（２）壱岐ウルトラマラソンについて

１０月１９日に開催した「神々の島 壱岐ウルトラマラソン２０

24」は、全国各地から過去最高となる827名のエントリーをいただき、あいにくの悪天候ではありましたが、100Kmに489名、50Kmに240名、総勢729名のランナーが出走され、大きな事故等もなく514名のランナーが完走されました。

1,000名を超えるボランティアスタッフの皆様をはじめ、沿道からのあたたかい声援やコース周辺の交通規制等、円滑な大会運営にご協力をいただいた市民皆様、協賛及び支援をいただいた企業及び各種団体の皆様等、今大会を支えていただいた全ての皆様に心からお礼と感謝を申し上げます。

（３）スポーツ合宿誘致について

本市へのスポーツ合宿誘致により、来年2月10日から「広島経済大学陸上競技部」が、2月14日からは「富士山の銘水長距離陸上競技部」並びに「YKK陸上長距離部」が、本市での合宿を行う予定であります。また、合宿期間中には一流選手に学ぶ機会として、子どもたちへの陸上教室も予定されております。

引き続き、実業団等への誘致を強化しながら、「スポーツ合宿を壱岐島で！」の定着に向けた取組を進めてまいります。

（４）イルカパーク管理・環境等検討委員会について

前年度のイルカの死亡事案を受け、死亡原因等を究明することを目的に、8月2日にイルカパーク管理・環境等検討委員会を設置し、合計3回の会議を経て、11月6日、有識者の方々の調査・検討の結果を踏まえた飼育管理や生育環境等に係る報告及び提案をいただいたところであります。

今後、内容を精査し、壱岐イルカパーク&リゾートのより一層の環境の充実に努めてまいります。

3. 産業の振興

(1) 農業の振興について

本年度の水稻の作柄は、7月下旬以降天候に恵まれ、全もみ数はやや多くなったものの、登熟についてやや不良が見込まれたことで、長崎県全体では10アール当たり予想数量は484kg、作況指数100に対し、壱岐市においては10アール当たり500kg、作況指数99の発表がなされました。等級は、早期米については「コシヒカリ」が2等でありましたが、高温耐性のある「つや姫」、「にこまる」、「なつほのか」は1等となりました。

葉たばこについては、収穫期全般を通して日照時間も多く天候に恵まれたこと、病害の発生も例年より少なかったことで、平均収量は280kgとなり、目標収量の250kgを大きく上回る結果となり、1kg当たりの代金は2,057円、10アール当たり代金が57万6千円となり、過去10年間で2番目の高成績となりました。

畜産業については、令和9年の全国和牛能力共進会北海道大会を見据え、産地間競争に打ち勝つための牛づくりと、壱岐牛のさらなる銘柄確立を図ることを目的として、10月24日に第11回壱岐市和牛共進会が開催され、各地区から選考された39頭が集う中、第4部の おかぐち かつひろ 岡口 勝洋 様の「さちはな号」・「みくにひさ号」がグラ
ンドチャンピオンに輝きました。また、9月17日に福岡食肉市場

で開催された肉牛の部に21頭が出品され、株式会社 こやま牧場様が見事金賞を獲得されました。この共進会を通じて、肉用牛農家の生産意欲の高揚と経営安定が図られることを期待するものであります。

また、島外購買者の方については、10月3日に開催された第60回福岡県肉畜共進会において、また11月10日第71回近畿・東海・北陸連合肉牛共進会においても、壱岐産素牛での出品購買者がグラントチャンピオンを受賞されました。これら契機といたしまして、さらに壱岐牛の名声が高まることを期待しております。

このような中、12月1日、2日に開催された子牛市では、平均価格が10月市と比較し、1頭当たり約4万4千円高の平均5万2千6百円で、上向きの取引となっております。今後も産地維持のため、関係機関と連携を図り、肉用牛における基盤の強化を推進してまいります。

（２）水産業の振興について

本年4月から10月までの本市の漁獲量及び漁獲高を去年同期と比較いたしますと、漁獲量は11%減の1,031トン、漁獲高は13%減の13億6千万円と、漁獲量、漁獲高ともに減少しております。これは、海水温が例年より高く、イカ類等が不漁であったことや、直近では時化が多く、出漁できなかったことが要因だと思われます。漁業者の経営維持は依然として厳しい状況にありますが、このような状況を踏まえ、漁業用燃油対策事業等を実施し、漁業者の経営維持・存続を支援しております。

次に、本年度の長崎県並びに長崎県議会への要望項目中、クロマ

グロの漁獲制限については、沿岸漁業の漁獲枠の拡大・撤廃、資源管理に伴う減収補填措置の充実、放流支援の充実等、国への働きかけを要望し、併せて磯焼け対策についても、植食性動物の駆除等に関する支援の拡充等を要望したところであります。

今後も引き続き、漁業者の皆様そして各漁協をはじめ関係機関との協議及び連携を図り、水産振興に積極的に取り組んでまいります。

（３）企業誘致について

この度、大阪市に本社を置く仁Ｓｔｕｄｉｏ株式会社の壱岐市進出が決定いたしました。同社はゲームや映像制作を手掛けられており、令和７年７月開所予定のサテライトオフィスでは、５年間で１７名の雇用計画とされております。

６月に ^{にしむら まさひで}西村 正英 社長をはじめ幹部社員の方にご来島いただき、面談をさせていただきました。その後、私自身も大阪市の本社を訪問させていただき、わずか４か月余りで本市への進出が決定いたしました。長崎県内でも２例目のデジタルコンテンツ関連企業の誘致であり、本市においても初となる業種の誘致であります。

今回の誘致に際しまして、多大なるご協力を賜りました長崎県並びに長崎県産業振興財団をはじめ関係各位に対し、心から厚くお礼申し上げます。

今後、企業説明会等が開催されることと存じますが、その際は回覧等でお知らせいたしますので、ご興味のある方はご参加いただきますようお願いいたします。

4. 市民生活の維持

(1) 環境の保全について

壱岐市地球温暖化防止対策協議会との事業として毎年開催している地球温暖化防止講演会について、本年度は自治総合センターの環境保全促進助成事業を活用し、俳優であり、気象予報士でもある
いしはら よしずみ
石原 良純 氏をお招きして、「海の環境について考えよう」と題した講演会を、来年1月25日に壱岐の島ホールで開催することとしております。本講演会を機に、地球温暖化防止や持続可能な社会を作っていくことへの意識付けと、海洋環境及び海ごみ問題に対する理解が深まることを期待しております。

(2) 野良猫の対策について

昨年度より飼い主のいない猫の不妊・去勢手術費用補助金を創設し、野良猫対策を実施しておりますが、同時に民間のボランティア団体には、譲渡会の開催や不妊去勢手術実施時の支援等、野良猫等の対策に熱心な活動をいただいていることに対し、改めて感謝を申し上げます。

昨年11月にはNPO法人 アニマルレスキューハッピーリボン様の152頭をはじめ、本年7月には長崎県により動物殺処分ゼロプロジェクトの一環として実施された移動不妊手術車（スペイカー）による115頭、9月には公益財団法人 どうぶつ基金 様と実施地域のご協力により119頭、計386頭の不妊去勢手術を無料で実施することができております。

この度、どうぶつ基金 様の殺処分等される不幸な猫を無くした

いとの熱い思いにより、引き続き今月から令和7年度にかけて、約1,000頭の不妊去勢手術を無料で実施していただける運びとなりました。今後、必要な手続きを進めるとともに、ボランティア団体や地域との連携を図りながら、動物の愛護及び管理に関する事業を進めてまいります。

(3) 還暦式について

11月8日に開催した令和6年度壱岐市還暦式には、本年度に還暦をお迎えになる市内175名、市外138名、計313名の方々がご参加され、友人や仲間との久しぶりの再会に、たいへんな盛り上がりとなりました。

全国でも珍しい還暦式を機に、中学校や高校の同窓会も開催されることから楽しみにされてある方が多く、また経済効果や郷土愛の醸成等、還暦式がもたらす効果は大きいと捉えておりますので、今後も継続して開催してまいります。

5. 教育の推進

(1) 第40回国民文化祭、第25回全国障害者芸術・文化祭プレ大会について

国民文化祭、全国障害者芸術・文化祭は、全国的な文化の祭典であり、令和7年秋に「ながさきピース文化祭2025」として、長崎県全域での事業展開が予定されております。

本市においては、プレ大会として11月2日から4日にかけて、出演・出展・文芸等が一堂に会した島の祭典「壱岐市総合文化祭」

プレ大会を開催し、約 1,700 名にご来場いただきました。また、17 日には「粋な食・文化祭」プレ大会を開催し、壱岐の自然、食材及び麦焼酎等を中心としたイベントを実施したところであります。

今後、プレ大会での改善点や反省点等について意見を集約し、本大会での成功に向けて、実行委員会等で協議を進めてまいります。

（２）子どもたちの活躍について

内閣府が実施する障害者週間に合わせ、障害の有無にかかわらず、誰もが能力を発揮して安全に安心して生活できる社会の実現をテーマに募集された令和 6 年度障害者週間のポスター作品において、石田中学校 2 年の ^{たなか みなぎ} 田中 海風 さんの「気づいてよ」が、全国 364 点の応募の中から最優秀賞の内閣総理大臣表彰を受賞されました。

スポーツ活動では、11 月 7 日に開催された令和 6 年度長崎県中学校総合体育大会駅伝競走大会において、男子の部で郷ノ浦中学校が 5 位入賞と健闘しております。

また、第 155 回九州地区高等学校野球大会において、壱岐高校野球部はベスト 8 となり、来年春の甲子園「第 97 回選抜高等学校野球大会」の 21 世紀枠の県推薦校となっております。

これらの結果は地域の誇りであり、各校の努力の賜物であります。

生徒たちが今後も一層の成長と飛躍を遂げられるよう、市としても引き続き支援してまいります。

6. 安心安全なまちづくり

(1) 防災対策について

11月1日から2日にかけての台風21号（後に温帯低気圧）の影響による大雨・暴風について、本市では2日の明け方から昼過ぎにかけて大雨の予報となり、市民皆様の安全を確保するため、1日午後3時に「高齢者等避難」を発令並びに市内4か所に避難所を開設し、合計で6世帯9人が避難されました。

本市では、線状降水帯発生情報や大雨警報の発表までには至りませんでしたが、谷江川観測局で最大24時間雨量237mmを記録するなど大雨となり、一部地域において農地災害等が発生いたしました。

本市では近年、幸いにして人的被害及び甚大とされる災害等は発生していない状況にありますが、皆様ご承知のとおり、地球規模での気候変動が顕著であり、台風の勢力等が増大するとともに、全国的に大雨による土砂災害の多発化、激甚化等が懸念されており、本市においても、いつ、どこで、こうした自然災害に見舞われるか予測が困難な状況にあります。

市としては、これまでの経験等を踏まえ、災害対策に万全を期してまいりますので、市民皆様におかれましては、早めの警戒や日頃の備えなど、さらなる防災意識の向上に努めていただきますようお願いいたします。

次に、原子力防災について、11月30日、長崎県と本市を含む県内4市合同による長崎県原子力防災訓練が開催されました。これまでも行ってまいりました情報収集伝達訓練、住民避難誘導訓練、原子力

災害医療訓練等に加え、本年はコロナ禍の影響等により実施できておりませんでした広域避難訓練を再開し、陸上自衛隊の大型輸送ヘリ及び壱岐海上保安署の巡視艇による広域避難の訓練等を実施したところであります。

今後も長崎県をはじめ関係機関等との連携を密に図り、成果と課題を検証しながら、防災対策に万全を期してまいります。

次に、9月26日、壱岐市防災会議を開催し、壱岐市地域防災計画の修正について、関係機関及び有識者等で構成される委員皆様にご審議いただいたところであります。その後、10月2日から31日までパブリックコメントを実施し、壱岐市防災会議での承認を得て、本会議に議案を提出しております。

（２）消防・救急について

10月12日に宮城県で開催された第30回全国消防操法大会において、ポンプ車操法の部で壱岐市消防団芦辺地区第1分団が第5位という素晴らしい成績を収め、また ^{ながしま こうき}長島 幸輝 選手は3番員として優秀選手に輝きました。

このことは、選手、関係者皆様のチームワークと長期にわたる厳しい訓練の成果であるとともに、ご家族皆様、職場の皆様、地域の皆様の支えの賜物であり、ここに深甚なる敬意と感謝を申し上げる次第であります。

次に、救急車の出動件数については、昨年は1,992件発生し過去最多でありましたが、本年も昨年同期と比較しますと、50件程度増加しております。長崎県全域においては、救急車を呼ぶか判

断に困った際に利用する救急安心センター事業（＃ 7 1 1 9）が開始されておりますので、有効に活用いただき、救急車の適正利用にご協力くださいますようお願いいたします。

これから年末年始にかけ、火気を取り扱う機会が増え、空気が乾燥し、火災が発生しやすい時期となりますので、市民皆様には、火の取扱いに十分ご注意くださいようお願いいたします。

7. 議案説明

次に、議案関係についてご説明いたします。

（１）補正予算について

本議会に提出した令和 6 年度補正予算の概要は、

一般会計補正額	7, 7 6 5 万円
各特別会計の補正総額	2, 5 2 7 万 1 千円

となり、本定例会に提出いたしました一般会計、各特別会計の補正額の合計は、

	1 億 2 9 2 万 1 千円
--	------------------

となります。

なお、現計予算と合算した本年度の一般会計予算は、

	2 5 1 億 7, 2 6 9 万 2 千円
--	-------------------------

で、特別会計については、

	8 0 億 2, 5 4 4 万 3 千円
--	-----------------------

となっております。

（２）その他の議案について

本日提出いたしました案件の概要は、令和 6 年度予算の専決処分の報告 1 件、条例の一部改正に係る案件 3 件、公の施設の指定管理者の

指定に係る案件４件、計画の策定・見直し２件、予算案件７件であります。

何とぞ慎重にご審議をいただき、適正なるご決定を賜りますようお願い申し上げます。

８．おわりに

以上をもちまして、９月会議以降の市政の重要事項また政策等について申し述べましたが、様々な行政課題に対し、今後も誠心誠意、全力で取り組んでまいる所存でありますので、議員各位並びに市民皆様のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

令和６年１２月６日

壱岐市長 篠 原 一 生